

二月二日

早大隈講堂で卒業設計講評会。夜西調布にて聖徳寺プレゼンテーション。聖徳寺霊園はこれでほぼ基本計画は決まった。墓地とお堂の設計に取り組めるのは幸運である。スカルパの墓地と勝負してやる。昨日、日本フィンランドデザイン協会でフィンランド行のスケジュール他諸々が決まった。鈴木博之のヘルシンキでのレクチャーも決まり。彼には広くデザイン界芸術界に足を延ばしてもらいたいと思っていたから、それには少し役立つかあろう。西域行も日程が決まった。勉強しないと大恥かくな本当。

二月三日

長男の雄大は変なアルバイトに異常な情熱を燃やしている。恐らく学校は卒業出来ないだろう。昨年の暮からタコ踏みに精を出しているとは聞いていたが、築地の市場で冷凍タコ（海にいる足が沢山ある奴）を踏みつける仕事をしていたらしいが、今は何をしているのか知らぬ。何踏んでもイイが人だけは踏むなよと祈るばかり。今日はタコ踏みで得た金で中古車を買ったらしく、それが家に来るらしい。俺は大反対したのだが、家内は雄大には甘いから、家内をだましてどうやらそうしたのだ。俺の貯金箱から金を盗み出して十万円みんなパチンコに消えてしまったし、ヤローがフイと居なくなったら必ずパチンコ屋なんだから、バカヤローお前勘当だと言った位じゃどこ吹く風で、客が来れば愛想だけは

良くって、誰の血をひいたんだコイツは。しかし運動部の競技用ヨットだけは夢中になっていて、それが無ければコイツはただのサギ師だな。しかしネエ。ヨット車タコ踏みじゃあ、どうしようもないぜ、コレワ。まさか私の家から体育会系のタコ踏み男が出るとは、全く人生は喜劇でもある。二女もしたい放題の巨大スネカジリ虫である。こいつが一番の難敵であろう。誰の入れ知恵か親のスネはかじり倒せと教えられたらしく、本気でそれだけは実行してやがる。こいつも何言ってもきかないからネエ。段々こちらもあきらめて、もう何を言う気もない。上手くいってると思っているであろう。最近の無気味な娘のふくみ笑いがそれを物語っている。こいつ等の顔見るとお先真暗だ。体の調子も良くなって一日ポーツとして暮す。こいつう日が続いてくれると人生は楽だ。

二月四日

家の周辺の梅が少しずつ花を咲かせ始めた。夜、その香がかすかに流れてくる。体調が悪い原因は歯グキがはれたからだということ判明。何故歯グキがはれたのかは解らない。私は歯医者には嫌いなので死ぬか生きるか迄は絶対に歯医者には行かぬ。今日も何も無い一日であった。朝から晩まで地下で打ち合わせで暮れた。一人だけで成し遂げられる仕事と、建築設計のように一人だけでは成し遂げられぬ仕事との距離は遠い。この仕事は全て他力本願だ。

夜、上海から李祖原よりTEL。十四日東京で会う事になる。吉田司宮澤賢治殺人事件読了。現在流通する宮澤賢治観がどのよつに作られてきたかを知る事ができた。この人が本当に書きたいのは昭和天皇ではないか。